

NPO法人社会還元センターグループわ会報  
 情報ギャラリー  
 第37号

情報ギャラリー第37号  
 発行日 2007年 1月26日  
 編集 グループわ 広報部  
 発行者 郷 肥三  
 発行元 NPO法人社会還元センター  
 グループわ  
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-3830  
 Eメール group\_wa@wa-net.jp  
 ホームページ http://www.wa-net.jp

**ボランティア活動に会員82%が参加  
 会員対象のアンケート調査の中間報告**

理事・上田 市夫

さきごろ実施したグループわ会員のボランティア活動に関するアンケート調査については、全会員1,050名のうちの50.5%にあたる531名の方から回答を頂きました。皆様のご協力有難うございました。

この調査は、(財)神戸都市問題研究所が主宰する「ソーシャルキャピタル協働政策研究会」が、研究テーマの一環として、シニア世代が中心になってボランティア活動を通じて社会に貢献することを目的とするグループわに注目し、それを構成する会員の意識を把握するため行われたものです。

集計内容の分析は、今後同研究所とわが連携して行うことになっていますが、結果は、市の行政施策の中で、安心・安全な地域社会づくり、コミュニティづくりなど人間関係を中心とする社会関係資本の整備のためのデータとして活かされることとなります。わとしても今後の運営方針の参考にしますが、とりあえずアンケートの集計に現れた特徴的な傾向の概要をお知らせします。

まず、わに入会した動機(3つ以内の回答)については、「シルバーカレッジ(以下「KSC」という。)で学んだことを活かしたいから」が60.5%、「KSCのボランティア活動を継続したいから」が44.3%、「社会のために役立ちたいから」が43.9%となっている。ボランティア活動については「している」が81.5%「していない」が15.4%となっていることがわかった。

一方、KSC入学前のボランティア活動については「していた」が30.1%「していなかった」が64.0%となっている。これらの回答から、KSCで学んだことなどで「していた」の30.1%が「している」81.5%

に増加し、逆に「していなかった」の64.0%が「していない」の15.4%に減少していることが分かる。これは「再び学んで他のために」を実践したKSC効果だと思われる。わに関係のないボランティア活動についても聞いたところ、47.8%が「している」で「していない」のは18.0%となっている。

ボランティア活動の頻度については、41.6%が「月1~2回」21.3%が「月3~4回」15.6%が「月5回以上」となっている。ボランティア活動

気懸かりである。ボランティア活動で満足を感じるの(複数回答可)「相手から感謝されたとき」が58.0%「充実感が得られたとき」が43.2%「役立ったと感じたとき」が28.4%となっている。

区会が行う地域活動への参加は、「している」「時々している」を合わせると45.0%となっている。

居住地の自治会・婦人会活動、清掃活動、趣味やサークル活動などの地域活動には「参加していない」が31.1%となっている。参加していない理由については、健康や年齢的なことなどいろいろ推測されるが、気になる数字である。

KSCでの履修コースについては、総合芸術コース29.6%、生活環境コース26.5%、福祉文化コース23.7%、国際交流・協力コース

グループわに入会した動機はなんですか(主なものをしてください)		
	件数	全体(%)
1. シルバーカレッジ(KSC)で学んだことを活かしたいから	321	60.5
2. KSCのボランティア活動を継続して行いたいから	235	44.3
3. 友人・同好のグループから入会を誘われたから	73	13.7
4. 社会のために役に立ちたいと思ったから	233	43.9
5. わのボランティア活動に共感したから	105	19.8
6. 技能・趣味を活かしたかったから	124	23.4
7. その他	29	5.5
無回答	9	1.7
合計	【複数回答】	1,129 212.6

への参加については、80.1%の人が交通費の実費ないし1日2,000円程度の有償を希望していることが注目される。このことは、ボランティア活動の頻度との関係で参加を左右する要素の一つになっていると考えられる。

現在おこなっているボランティア活動の満足度については、63.7%が「満足」14.1%が「多少不満」と答えている。「大いに不満」が0.8%あるのは

18.7%となっている。総合芸術コースの比率が29.6%と高いのは、専攻が美工・音文・園芸・食分など趣味・いきがいに関する活動が関係しているのではないかと思われる。

最後に回答者の年齢について尋ねたところ、70~74歳が一番多く33.9%、ついで65~69歳が29.2%、75~79歳が17.9%、80歳以上がなんと5.8%もいます。(次頁に続く)

お知らせ  
 平成19年度 グループわ 定期総会  
 日時 ; 5月15日(火) 場所 ; シルバーカレッジホール